

網張ビジターセンター ニュースレター



Amihari
visitor center

Vol.81
2018.11

そろそろ冬だよ～

晩秋の森の“妖精”

amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori * 網張の森の生き物たち * amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori

ひょこい現れた“クリタケ”

すっかり落葉し、その上を歩いた時のカサカサという音が心地よい森の中で、小さなクリタケに出会いました。古い切株が朽ち地面と一体化していたところから、ちょこんと生えていました。上を見ると既に傘の先が割れている大きなものもありました。見過ごしてしまいそうな3cm程のキノコでしたが、紅葉の時期も過ぎ、昆虫などの姿もぱったりと目にしなくなった晩秋の森ではスポットライトを浴びているかのような存在感でした。ひだの下には1cm程のハエらしき昆虫がくっついていて、触れようとするとほとりと落ちてしまいました。そこでひと休みしていたの？それともキノコを食べていたの？推測の域を出ませんが、キノコは枯れた植物や動物の死骸・フンなどを土に返す“分解者”の他に、虫たちのエサにもなっていることも知られていて、控えめながらも森の土台を支える重要な役割を担っていることに改めて気づかされた出会いとなりました。

“What is Kuritake?”

『栗色のキノコ』

モエギタケ科
傘の直径：3～8cm
分布：全国（沖縄を除く）

秋から晩秋にかけて広葉樹の倒木や切株などに生える腐朽菌。若い時は傘のまわりに綿毛が生える。これまで食用とされていたが、分析の結果有毒成分が見つかり外国では毒キノコの扱いになっている。猛毒のニガクリタケは同じ場所に生えることもあるが、クリタケに比べ傘の色が黄色で、肉も薄い。

（参考図書：「ふしぎな花キノコ」他）

amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomori



初冬の凜と冷えた夕暮れ時、街がほのかに灯り始める

網張から見える 山ノート

14ページ目 飯岡山

いいおこやま
飯岡山

標高：358.1m

位置（網張VCから）：南東

登山適期：通年

特色：盛岡市（旧都南村）の西に位置し、志波三山の連なりからは岬のように飛び出た山。新奥の細道のコース標識も周辺に点在する。

飯岡山に舗装路があることをご存知でしょうか？山頂には金属製の展望台もあり、ちょっと異質な感じ。いずれも経年による劣化が見受けられます。どういう経緯で整備がなされたのか？麓にある古刹、長善寺の住職さんのお話を伺う事ができました。



毒ヶ森

周辺にはリンゴの果樹園が多く、落ち着いた里山に色を添えている

「山の字に見える山は意外と少ないですよ。」長善寺から臨む飯岡山は、たしかに安定感のある三角をしています。さて、舗装路に関して。登山口から約300m入った地点にある石碑に「平成2年道路開通記念 贈樋下建設（株）」と記されています。時期的に公共事業かと想像しましたが、私有地であり民間によって進められたプロジェクトだったそうです。盛岡の岩山のように親しまれる山に…。盛南開発が本格化する中で、一つの試みだったのでしょう。



移ろいゆく時代の中で、飯岡山は人々の心の支えにもなってきました。「山名に“飯”がつく、里に恵みをと人々は願い感謝してきた。（山は）湧水を与えてくれるだけではなく、災害をくい止めてくれる存在。大切にしなければならない。」

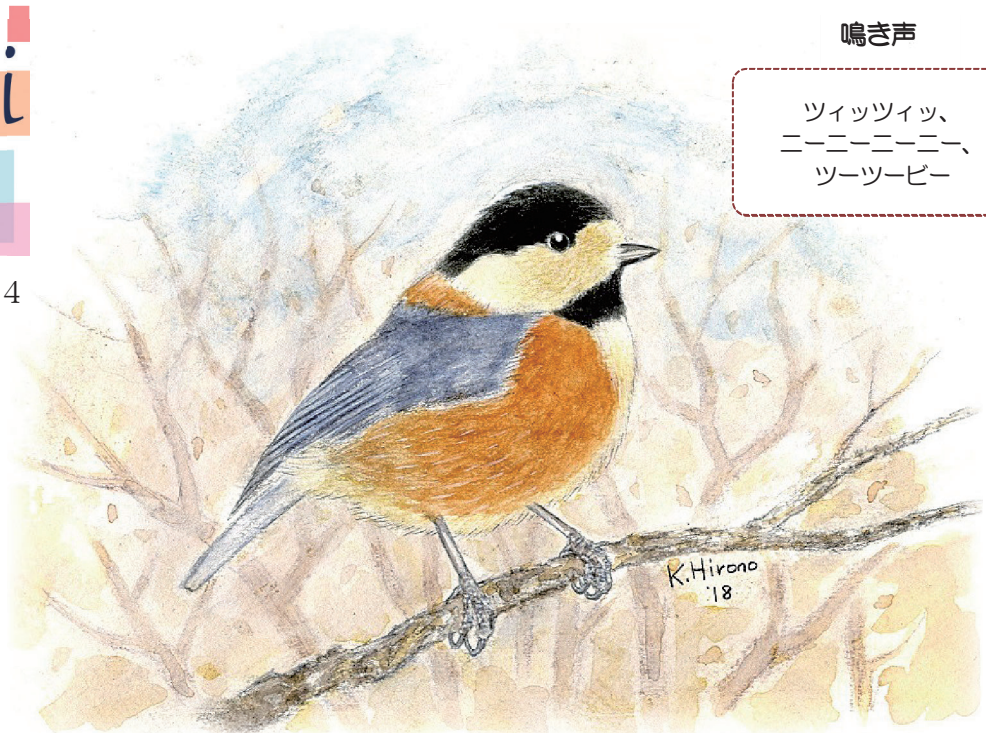
新奥の細道とは？ 松尾芭蕉にちなんで整備がなされた東北自然歩道の事で、1992年に環境庁（当時）が県内に42コースを設定した。飯岡山も「りんごと山桜のみち」として、都南つどいの森から辻屋敷バス停（下鹿妻）までがコースに選定されている。標識の案内がやや不十分な「石割桜」は「飯岡山石碑」の裏手南側斜面にあるが、やぶにご注意。

Amihari Birds

アミハリ・バース Vol. 24

ヤマガラ

科名：シジュウカラ科
全長：約14cm
生態：留鳥
分布：小笠原を除く日本全国



鳴き声

ツイツィツィ、
ニーニーニーニー、
ツーツーピー

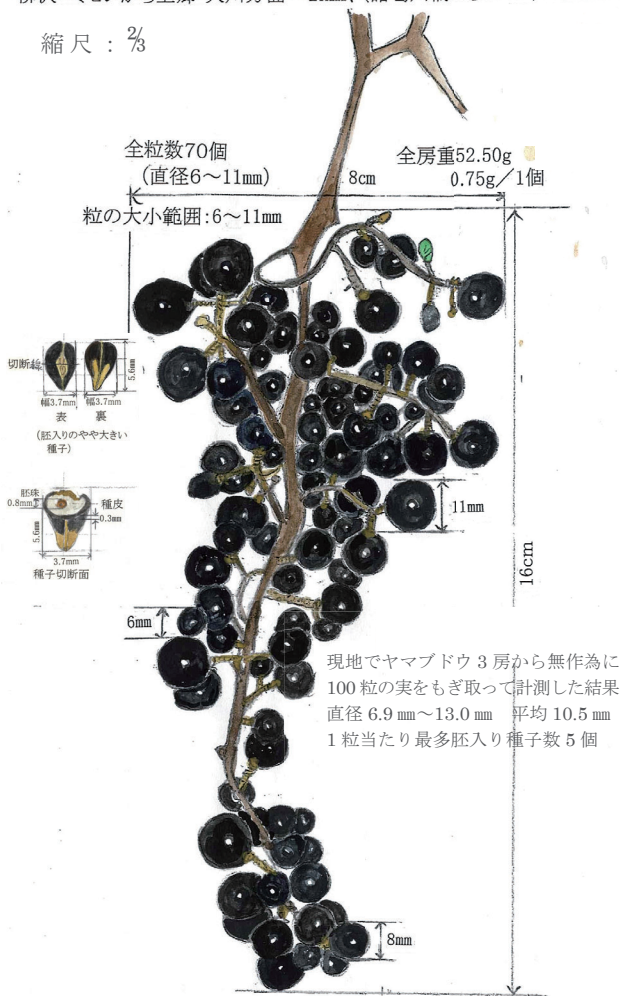
落ち葉が積もった地面で餌探しをするヤマガラをスタッフが見かけました。「種子を貯食するのに忙しいんだからね」と夢中な様子。この頑張りか冬の生死を分けるのでしょう。分布域はカラ類の中では狭く日本と朝鮮半島のみ。常緑広葉樹の暖地に生息数が多いところからも、網張は中々厳しい環境かも。好物らしいエゴノキも自生していないし…。いずれ白銀に覆われる森で、「ニーニーニーニー」という元気な声をまた聞きたいものです。

他のカラ類はモノトーンな色彩の中、赤いチョッキを着たおしゃれさんの一面も。頭でっかちなのに正面から見ると意外に小顔など、どことなくファニーでユーモラス。けれど賢さも兼ねそろえており、そこに目を付けた先人は芸を仕込み、「ヤマガラのおみくじ」といった出し物で人気を得たそうです。

喜作先生の自然スケッチ “ヤマブドウ（ブドウ科）の雌雄比率について”

ヤマブドウ 2018(H30)10.8採取 10.18スケッチと計量 亀山喜作
柳沢コミセンから上郷・大川方面へ1km、(諸葛川橋から160m)の道路端

縮尺： $\frac{2}{3}$



ヤマブドウは雌雄（♀♂）別株である。食用になるサンカクツルとエビツルも雌雄別株であるが、ノブドウは同株で食用不適である。西洋系のキャンベルやマスカットは雌雄同株である。ヤマブドウが雌雄別株であることが判明し、かつその比率が分かったのは1986（S61）年の山形大学農学部紀要の発表が最初のように、月山山系の320株の雌株比率は32.8%と報告している。

私は1991（H3）年6～7月に岩手県北部6市町村の587自生株を調べたら雌株33.2%、雄株66.8%であった。[岩手植物の会会報1992（H4）年3月No.29]。一方、ヤマブドウの栽培に取り組んだ会社も数社あったが当初は雌雄別株ということが分からず、移植した株の多くが雄株で期待した収穫量が得られず損出をこうむったという話が残っている。1988（S63）年ごろから岩手県林業技術センターで県内60株から粒と房の密生が多く、かつ酸味の少ない5株を選抜し、農林水産省系園芸局から品種登録が認可され、涼実紫（すずみむらさき）1～5号として1994（H6）年以降、苗木を供給している。山地において雄株は自生率が高い上に繁茂ボリュームが雌株の約4～5倍あるようで、大数は雄株が多い。私は望んでいる。自然の山において雄株を間引いて雌株のさし木苗を山に植えたら人も動物もヤマブドウ自身も喜びことを。その他として雌株の根を強く切り詰めると幾らかは雄株に性転換するようである。逆に元に戻ることは聞いていない。（亀山記）



活発さ増す小学校・中学校・高校の網張ビジターセンター利用

・盛岡中央高校単位制コース・

10月4日、網張ビジターセンターをベース基地とし54名の高校生が参加した「犬倉山登山に挑戦」。紅葉と山並みの絶景に声が出ないほど感動。

お互いスクーリング以外では、なかなか顔を合わせる機会が少ない中、昼食後のネイチャーゲームですっかり打ち解け歓声が上がりました。



写真提供：岩手山地区パークボランティア

・滝沢市適応指導教室「フレンド滝沢」・

6月に続き、中学生2名が10月19日「秋の遠足 自然散策」で来館。「この施設は、はじめて行ったけど、本当にためになる話



で、施設もいいところで、説明してくれた方は、こころよく接してくれたので本当にいい秋の遠足になりました。今度は、家族と一緒に来てみたいと思います。」との嬉しい便りが届きました。

・滝沢市立 一本木小学校5年生・

スタッフ扮する三人の「森の神」が出す「ブナ林の土」、「紅葉メカニズム」、「森の生きものたち」といった難題を次々に解きながらゴールを目指します。これは、恒例の盛岡森林管理署とのコラボ行事、小学生のための「森林学習」の一コマ。10月24日に開催。



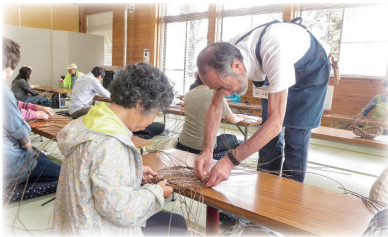
・雫石町立 雫石中学校2年生・



「大量に作っては捨てるという今の社会は異常であって自分達がそれに慣れてはいけない」・・・4名が10月30日～31日の2日間にわたり網張ビジターセンターで「職場体験学習」。

展示品の古く貴重な山道具を掃除した時の感想から。

最近のビジターセンターの活動



10月7日(日)
**「アケビのつるで
 かご作りに挑戦」**
 「このような文化を絶やしてはいけない。周りの若い人たちに伝えていきたい」との参加者の声。



10月21日(日)
**「秋の網張高原
 ハイキングで
 リラックス」**
 5歳から70歳まで25名が秋晴れの高原ハイキングを楽しみました。



10月13日(土)
**「網張の森でキノコ
 と親しくなろう」**
 岩手菌類研究同好会の先生たちの博識ぶりに参加者は驚きの連続でした。岩手大学キノコ研究会の大学生たちも参加し盛り上がりました。



11月11日(日)
**初めてのアート
 体験「気軽に
 できる布絵作り」**
 「先生の助けを借りてなんとか形になった。楽しかった」と出来上がった作品に大満足。

52nd ANNIVERSARY
いわて 雪まつい
 ネットビジターセンターも参加します！
 滝R会場(たきざわ自然情報センター) 2月2日~11日
 あ◎スノーシュー体験のわくわく 10日間連続開催!!
 ◎ガイド付きスノーシューツアー

10月20~21日
**- 雫石町の産業
 まつりに出展 -**
 ビジターセンター紹介パネル、
 網張の森の動物写真、国立公園の
 火山地形3Dマップ、生き物ぬり絵、
 ファーブルミニ観察など大好評！

参加者募集中!

ビジターセンターの自然ふれあい行事は初めての方でも気軽に参加できます。
 詳しくは網張ビジターセンターまでお問い合わせ下さい!(集合場所は網張ビジターセンター)



12月23日(日) 「冬の網張の森でクリスマス気分」

時間: 9:30~12:00 定員: 20名 参加料: 大人500円 小学生300円

1月26日(土) 国立公園で楽しむ「雪と遊ぼう 網張かんじき体験」

親子の自然体験

講師: 阿部 定志氏 広野 孝男氏

時間: 9:30~12:00 定員: 親子10組20名 参加料: 大人500円 中学生以下300円

現在開催中の 企画展

◆ 11月1日から12月28日まで ◆
 網張ビジターセンター展示コーナーにて



- 渡辺百合子 写真展 -
「ちょうちょ」

・ここ数年、草地や林が少なくなり、以前見られた蝶に出会うことが無くなりました。今回の写真展を通して、すぐ身近にさまざまな蝶がいることを感じていただければ幸いです。(出展者のことばより)

モモンガのつぶやき

今年の初雪が去年より23日も遅かったおかげでなんとか、滑りこみで積雪前の岩手山へ登ることができました。登山道はふかふかの落葉が厚く積もり、天然のクッションとなり膝を痛めることも無く、土砂の浸食流亡を押さえる保護材の役目も果たしていました。なかなかいい仕事してるね、落葉くん。
 (たくちゃん)



十和田八幡平国立公園 網張ビジターセンター

来館者数 ◆ 9月 2,520人 ◆ 10月 2,517人
 朝9時のビジターセンター平均気温 ◆ 9月 11.9℃ ◆ 10月 7.2℃

発行 網張ビジターセンター運営協議会

〒020-0585 岩手県岩手郡雫石町長山小松倉 1-2 (網張温泉)

TEL 019-693-3777 FAX 019-693-3778

URL <http://amihari17.ec-net.jp>

E-mail amihari@vanilla.ocn.ne.jp

開館 冬期(11月から3月末まで) 9時~17時 毎週火曜日休館
 年末年始休館(12月29日~1月3日)